

## Ⅲ-2 Excel2010データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

Excel-VBAで作成しています（Microsoft社のExcelが必要（WindowsXP Excel2010で動作確認を行っております。））。

手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は町丁・字等別集計[従業地・通学地による人口・産業等集計に関する集計]の場合は「SELH22KJS(EXCEL2010).xlsm」になります。

プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれています。

- 1．Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。  
抜き出したい項目に\*を入れる。
- 2．抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

補足：

町丁字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報はRID項目に記録されています。

(1) 秘匿情報

町丁字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

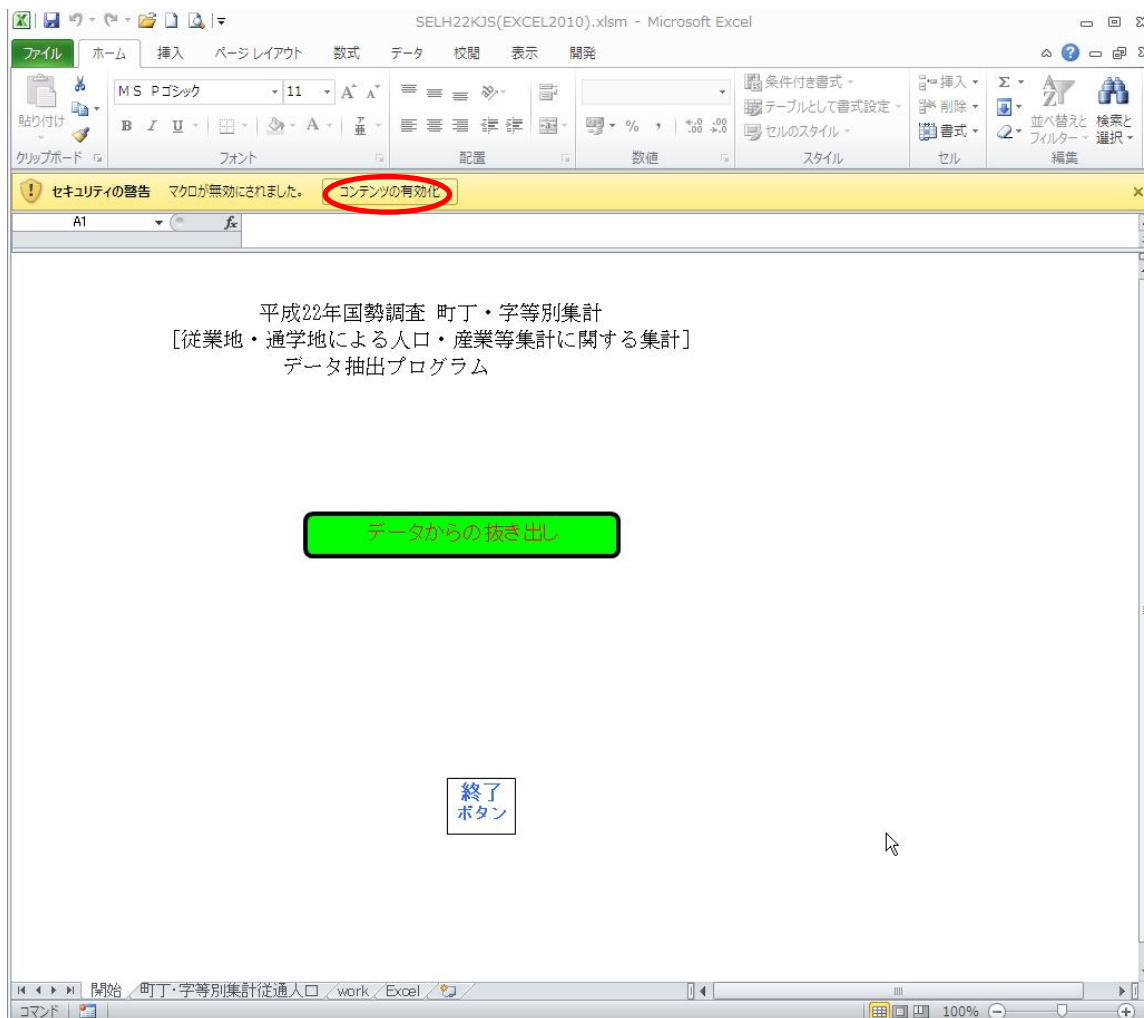
(2) 町丁字等名称

漢字の町丁字等名称を記録している。

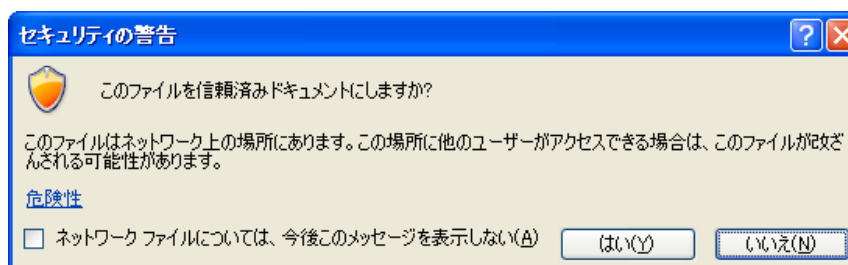
**操作手順:**

1. 抽出プログラムを起動し、「SELH22KJS(EXCEL2010).xlsm」をExcelに読み込む。

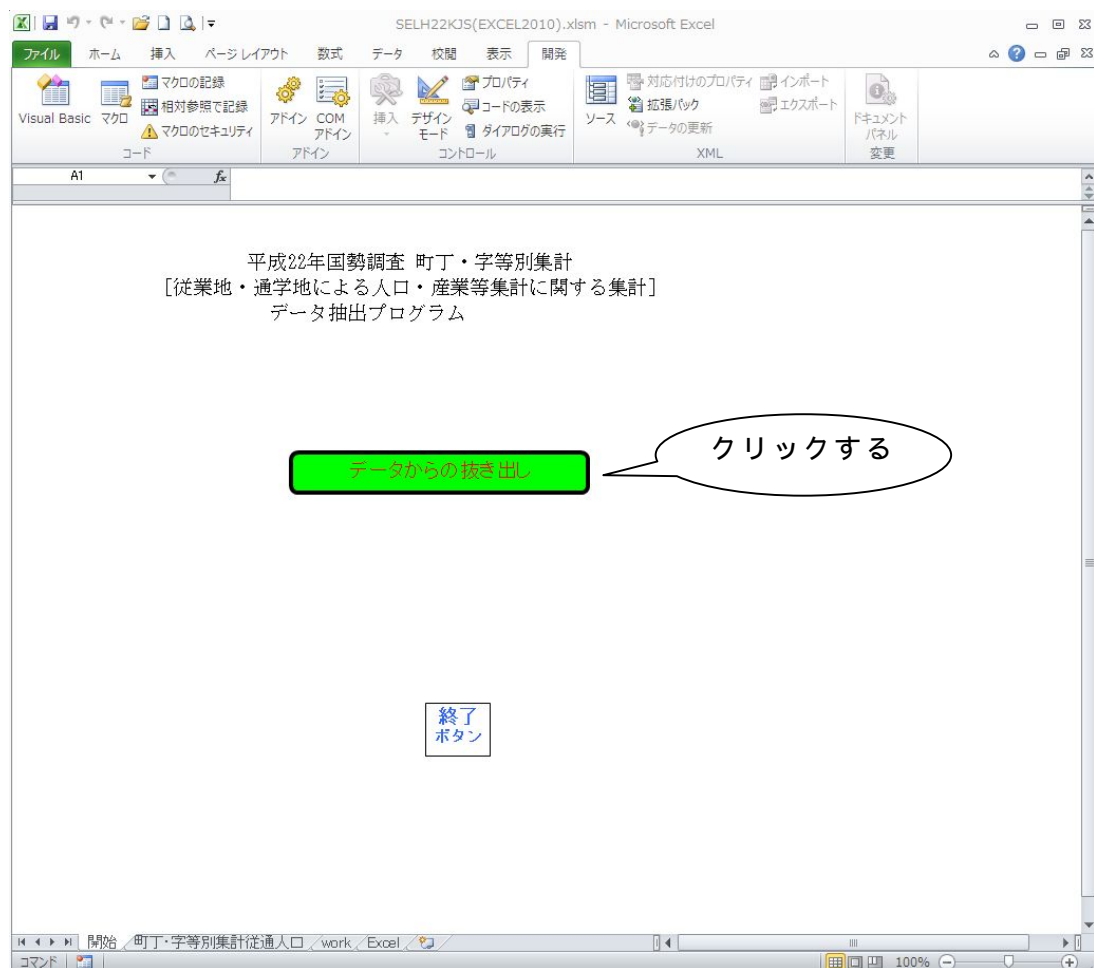
セキュリティの警告の際に「コンテンツの有効化」をクリックする。



下記が表示された場合は、信頼済みのドキュメントとして、「はい」をクリックする。



2. 最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。  
クリックすると集計別の項目選択Excelシートが表示される。



### 3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

#### (1) RIDの選択

ファイルIDから合算地域までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に\*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

#### (2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に\*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。

抽出条件  
①項目内:  
項目間は  
例 市  
②ワイルド:  
例 市  
③長さが異  
④右側1バ  
⑤町・丁目  
や「一丁目

抽出条件はこちら

抜き出し対象を絞る場合は、  
例に従ってコードを書く。  
複数ある場合は、右に向か  
って記述していく。

項目の入っていない箇所にも\*を入れると  
ERRORが出るので注意

吹き出し開始ボタン

もどる

指示が終わったらここをクリ  
ックする。  
抜き出し画面が表示される。

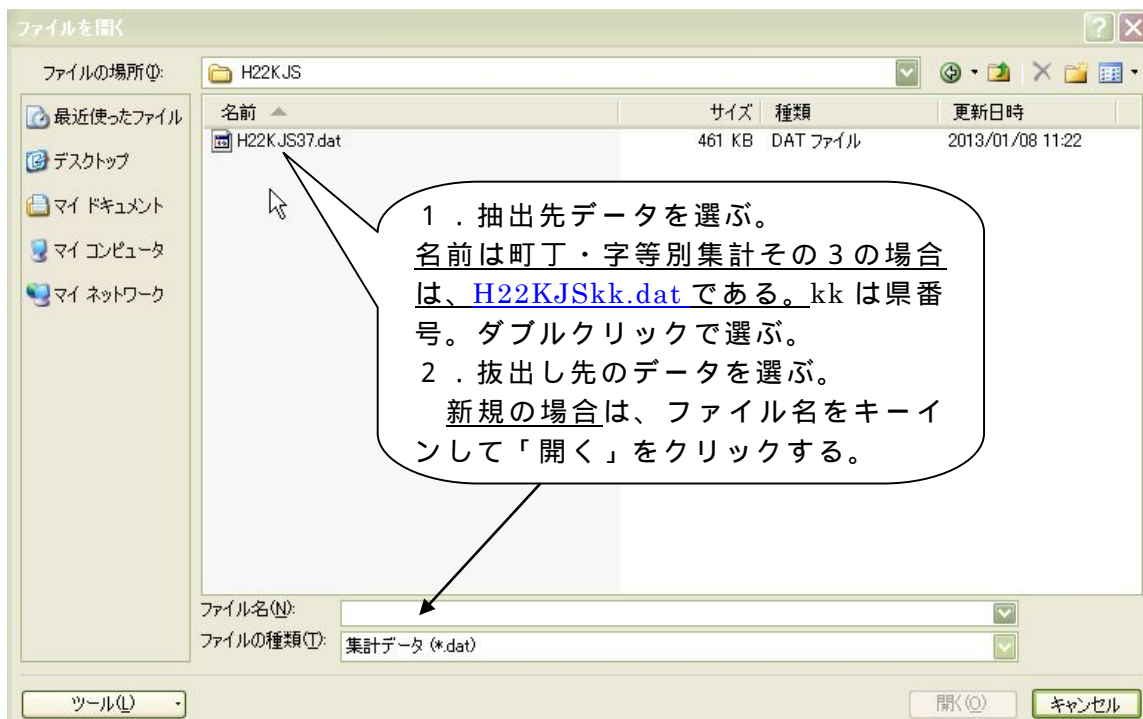
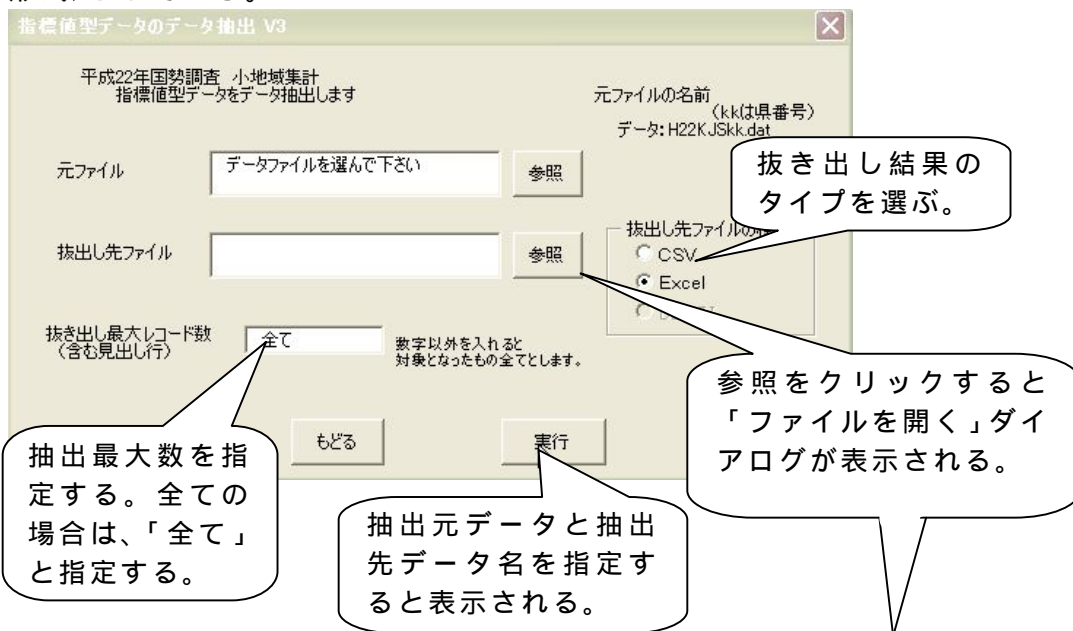
必要な項目に\*を入れる。  
\*は全角でも半角でもOK。

町丁字等別集計には、秘匿が含まれている。

（ファイルの集計項目は次の画面で表示される。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。）

#### 4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

抜き出し先EXCELファイルの拡張子は「.xlsx」(EXCEL2007以降のファイル保存形式)としている。



「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。  
抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

## 利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成22年町丁・字等別集計での秘匿は、人口または世帯数が極めて少ない地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁・字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報はCSVデータの秘匿区分、及び秘匿・合算符号に記録している。

(2) 集計データについて：

該当数値なしは「-」、秘匿され隠されたデータは「X」としている。